

❀無痛分娩についてのご案内❀

❀はじめに

出産は人生の大きな節目ですが、痛みへの不安を感じる方も少なくありません。無痛分娩は、出産時の痛みを和らげる方法のひとつで、安全性と快適さを両立することを目的としています。

❀無痛分娩とは？

無痛分娩とは、硬膜外麻酔(こうまくがいますい)を用いて、陣痛の痛みを軽減する分娩方法です。完全に痛みがなくなるわけではありませんが、痛みを大幅に和らげることができます。

❀当院の無痛分娩の特徴

無痛分娩コンサルティング LA Solutions の指導のもと、産婦人科医、麻酔科医、助産師、看護師が協力して、安全な無痛分娩を提供できるよう努めています。

自然の陣痛を待つのではなく、マンパワーのある平日の日中にスケジュールを決めて陣痛を誘発し麻酔を行う「計画無痛分娩」を行っています。

❀対象となる方

以下の条件を満たす方が対象となります：

- 妊娠満期(37 週以降)で経膈分娩が可能であると判断された方
- 麻酔時の体勢維持や痛みの応答などの協力が得られる方
- 問題となる合併症のない方
- 麻酔に対するアレルギーがない方

❀麻酔の方法

- 背中から細い管(カテーテル)を麻酔科医が挿入し、麻酔薬を持続的に投与します。
- 麻酔の効果は徐々に現れ、陣痛の痛みが軽減されます。

🌸メリット

- 痛みの軽減により、体力の消耗が少なくなります
- リラックスした状態で分娩に臨めます
- 分娩後の回復が比較的スムーズです
- 意識は保たれ、赤ちゃんの誕生をしっかりと感じることができます

🌸デメリット・リスク

- 血圧が下がることがあります
- 足のしびれや力が入りにくくなることがあります
- 頭痛や背中痛みが起こる場合があります
- 穿刺部の感染や血種リスクがあります
- 分娩の進行状況によっては麻酔が十分に効かないことがあります
- 回旋異常や器械分娩(吸引分娩や鉗子分娩)になる率が上がります
- ほか薬剤によるアレルギーや局所麻酔薬中毒(興奮・多弁・耳鳴り・味覚障害)、全脊髄くも膜下麻酔(徐脈・低血圧・呼吸停止)などの合併症があります

🌸よくあるご質問

Q. 赤ちゃんに影響はありますか？

→ 麻酔薬はごく少量しか赤ちゃんに届かず、影響はほとんどありません。

Q. 途中で無痛分娩に切り替えることはできますか？

→ 当院では「計画無痛分娩」のみ行っており、途中で切り替えることはできません。

Q. 費用はどのくらいかかりますか？

→ 無痛分娩代として120,000円(非課税)がかかります。そのほか通常でかかる分娩費用や一般的な入院費用がかかります。

🌸おわりに

無痛分娩は、出産の選択肢のひとつです。ご自身の希望や体調に合わせて、医師とよく相談のうえで決定してください。安心して出産の日を迎えられるよう、スタッフ一同サポートいたします。